

街頭で拉致早期解決訴え・自民県連青年局

記者席ノート

◇…自民党県連青年局(局長・矢吹栄修県議)のメンバーが1日、新庄市内3カ所で北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決などを訴える街頭演説を行った。写真。

各都道府県連の青年組織による全国一斉行動の一環。このうち、ヨークベニマル新庄店前では大沼瑞穂参院議員、矢吹県議、佐藤卓也新庄市議、県連青年部長の渋間佳寿美米沢市議がマイクを握った。



大沼氏は、北朝鮮が日本人拉致被害者の全面的再調査実施に合意したことに触れ「進展はあったが、外交交渉は一筋縄ではいかない。国民一人一人の支持がなければ解決には結び付かない。被害者全員の帰国に向け、多くの声を結集して一致団結して取り組みたい」と訴えた。